

## 本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
<b>2022年</b>			
5月 18日(水)	海水資源・環境シンポジウム2022	オンライン	45巻4号
19日(木)	先進材料科学による環境問題へのアプローチ	オンライン	45巻4号
31日(火)	第34回環境工学連合講演会「環境工学の22世紀」	東京もしくは オンライン	本号
6月 1日(水)	第42回通常総会	東京	本号
23日(木)～24日(金)	第27回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	横須賀	本号
7月 9日(土)～10日(日)	Water and Environment Technology Conference Online 2022 (WET2022-online)	オンライン	本号
8月 10日(水)	第31回市民セミナー【学会設立50周年記念事業】 スマホ等身近なツールでできる環境研究と環境学習	オンライン	本号
9月 6日(火)～7日(水)	第25回日本水環境学会シンポジウム	東京	
11日(日)～15日(木)	IWA World Water Congress & Exhibition 2022	コペンハーゲン	本号
10月 26日(水)～28日(金)	11th IWA International Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industry (AGRO' 2022)	ポーランド	本号
<b>2023年</b>			
3月 15日(水)～17日(金)	第57回日本水環境学会年会	愛媛	
4月 17日(月)～21日(金)	10th International Conference on Acid Deposition, ACID RAIN 2020 ～The Future Environment and Role of Multiple Air Pollutants	新潟	本号

## 会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール (member@jswe.or.jp) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

## 本会関連行事

### 第42回通常総会のお知らせ

下記の通り第42回通常総会を開催いたします。会員各位のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

学会ホームページの会員専用ページ内の総会出欠登録ページにて、総会への出欠の連絡、議事の委任もしくは議決権行使に関する手続きをお願い申し上げます（総会出欠登録ページ開設期間は5月17日（火）～5月31日（火）午後6時まで）。学会ホームページからのお手続きがどうしても難しい場合には、5月26日（木）までにその旨を事務局（電話 03-3632-5351、メール info@jswe.or.jp）へご連絡ください。出欠連絡、委任および議決権行使に関する紙面による回答票をお送りいたします。また、団体正会員の方で総会当日出席者が団体代表者以外の方の場合、代理権を証明する書類のご提出をお願い申し上げます。書式は事務局に用意しておりますのでお問い合わせください。

**総会は正会員現在数の過半数のご出席がなければ議事を開くことができません。ご出席いただけない場合には、必ず委任もしくは議決権行使の手続きをおとりくださいますようお願い申し上げます。**

**なお、新型コロナウイルス関連の情勢等によっては、開催要領が変更となる可能性もありますことを申し添えます。**

#### 記

**日時** 2022年6月1日（水）13:00～17:00  
（表彰式および受賞者講演および特別講演を含む）  
**場所** タワーホール船堀 5階「小ホール」  
（東京都江戸川区船堀4-1-1 Tel: 03-5676-2211 / 都営地下鉄（新宿線）「船堀」駅徒歩1分）  
<http://www.towerhall.jp/4access/access.html>

**プログラム（予定）:**

- ・総会（本会正会員のみ）
- ・表彰式
- ・受賞者講演
- ・特別講演

「浄水処理の進歩と水道水質基準－微粉炭・高塩基度PACl・農薬・暴露評価を中心として－」

松井佳彦氏（北海道大学教授、日本水環境学会前会長）

参加費無料

なお、受賞者講演、特別講演には非会員の方の参加（無料）も歓迎いたします。

### Water and Environment Technology Conference Online 2022 (WET2022-online)

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”をオンラインにて開催い

たします。会議での発表に合わせて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

**主催** 日本水環境学会

**期日** 2022年7月9日（土）～10日（日）

**内容** オンライン開催

#### 発表申込方法

発表申し込み受付は締め切りました。発表可と判断された場合、その通知を5月23日（月）までにお送りします。

発表者は必ず参加申込を行い、参加費を入金してください。5月27日（金）までに参加申し込み・入金がない場合には発表がキャンセルになります。

#### 発表方法

WET2022-onlineの発表は、事前提出ポスターのWEB掲載と当日のオンライン（Zoom）発表で行います。事前提出ポスターの提出期限は6月24日（金）を予定しており、作成および提出方法は“Notification of acceptance”およびWET2022-onlineのwebページに記載予定です。当日のオンライン発表はショートプレゼンテーションと、数人ずつがブレイクアウトルームで質疑を受けるQ&Aセッションで行います。詳細はWET2022-onlineのwebページに掲載予定です。

#### 論文投稿方法

JWETへの論文投稿は、発表受付メールに記載の方法にしたがって2022年5月27日（金）までにWeb上で行ってください。投稿された論文は通常の査読が行われ、2022年7月31日（日）までに査読結果を通知いたします。なお、論文投稿の有無に関わらず、講演要旨集には要旨のみが掲載されます。

#### テーマ

- ・Environmental analysis
- ・Toxicology and health concern
- ・Treatment and recycling
- ・General subjects in water and environment

#### 表彰

Excellent Paper AwardをJWETへ論文投稿した発表者から選出し表彰します。Excellent Presentation Awardは、事前にポスターファイルを提出し、当日、オンラインにて発表した発表者から選出します。

#### 参加登録

事前に参加申込を行って入金した方のみが参加できます。WET2022-onlineのwebページにて、2022年6月30日（木）24:00までに参加申込を行い、7月1日（金）までに入金してください。

発表者も別途参加申込が必要で、発表者の参加申し込み・入金期限は5月27日（金）です。

## 参加費

	Participant	Speaker
一般	5,000 JPY	5,000 JPY
学生	3,000 JPY	3,000 JPY

## 振込先

名義が異なる場合は、必ず別途ご連絡をお願いします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店

普通預金 口座番号：4948527

名義：公益社団法人日本水環境学会

名義カナ：シャ) ニホンミズカンキョウガクカイ

郵便振替：00180-5-564127

加入者名：(公社) 日本水環境学会

## 問い合わせ先

WET 事務局

E-mail：wet@jswe.or.jp Fax：03-3632-5352

## 第 25 回日本水環境学会シンポジウム 発表申し込み案内

第 25 回日本水環境学会シンポジウムについては、下記の要領により、ハイブリッド形式での開催を予定しています。

各研究委員会主導のプログラムで実施されますが、多くの研究委員会で発表を公募しておりますので、積極的に発表申し込みをしていただきますようお願いいたします。また、50 周年特別企画、メタウォーター賞受賞者講演のほか、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッションなど、多彩な企画が用意されています。

多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

### 1. 概要

期 日：2022 年 9 月 6 日（火）～7 日（水）

会 場：東京大学本郷キャンパス（現地参加・オンライン参加のハイブリッド開催を予定）

内 容：50 周年特別企画、各研究委員会等の主催によるセッション、若手研究紹介（オルガノ）セッション、メタウォーター賞受賞者講演ほか。懇親会は開催しません。

### 2. 研究発表の募集

セッションを予定している研究委員会、セッション題目、公募の有無、連絡担当者は別表のとおりです。発表を希望される方は、直接、連絡担当者にお申し込みください。

申込期限：2022 年 6 月 28 日（火）（必着）

応募資格：原則として本会会員に限ります。

非会員で発表希望の方は、連絡担当者にお問い合わせください。

注：「若手研究紹介（オルガノ）セッション」が別表とは別に設定されますが、これについては、別項「2022 年度博士研究奨励賞候補者募集」を参照ください。

### 3. 原稿作成・投稿方法

原稿枚数：A4 版 1～2 枚（図表込み）とします。

原稿書式：書式・投稿方法は当学会ホームページをご参照ください。[https://www.jswe.or.jp/event/symposium/pdf/Sympo\\_youryou.pdf](https://www.jswe.or.jp/event/symposium/pdf/Sympo_youryou.pdf)

提出期限：2022 年 8 月 9 日（火）（必着）

### 4. 発表形式

発表はシンポジウム形式を原則とし、1 演題 10～20 分としますが、時間配分の詳細は各研究委員会に一任されています。

### 5. 参加申し込み

シンポジウム参加申し込み案内は本誌 6 月号に掲載予定です。発表者も必ず参加申し込みをしてください。

## 2022 年度 博士研究奨励賞（オルガノ賞） 候補者募集

### 応募対象者

本年 3 月末時点で 35 歳以下の本会会員のうち、博士後期課程大学院生、もしくは 2021 年 1 月 1 日以降に博士後期課程において学位（博士）取得した者で、第 25 回日本水環境学会シンポジウム（2022 年 9 月 6～7 日）の若手研究紹介（オルガノ）セッションに於いて発表可能な方が対象者となります。

ただし、2021 年度以前に同賞を受賞された方は対象になりません。

### 応募方法

以下の書類を 2022 年 6 月 28 日（火）（締切厳守）までに、電子ファイルとして提出してください。

(1) 論文（A4 用紙 4 頁～6 頁）

博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集情報 <https://www.jswe.or.jp/awards/organo/index.html> に記載の「博士研究奨励賞（オルガノ賞）応募論文原稿執筆および発表要領」および「原稿書式」を参照してください（英文もあります）。論文は、博士後期課程における研究成果をまとめたものとしませんが、原著論文でも、また既発表の内容を含んだものでも構いません。また原著論文の場合、他雑誌への投稿を本学会が妨げるものではありません。この論文は一次選考においてのみ使用し、シンポジウム講演集には掲載しません。一次選考通過者には別途、講演集掲載用に A4 用紙 1 ページの要旨を提出していただきます。

(2) 関連する研究業績リスト

次の通り、分けて記載をお願いいたします。

- 学術雑誌論文（水環境学会誌、Journal of Water and Environment Technology, Water Research など）については、応募者が第一著者のものとその他に分けて記載してください。また、当該論文の査読の有無を明記してください。
- 国際会議講演集（Proceedings など）については、

第 25 回日本水環境学会シンポジウム 別表

研究委員会名	セッションタイトル	開催 期日	公募	連絡先
嫌気性微生物処理	脱炭素社会構築に寄与する嫌気性技術の貢献と課題	7日 AM	有り	西村文武 (京都大学) Tel : 077-527-6225 Fax : 077-524-9869 nishimura.fumitake.3n@kyoto-u.ac.jp
MS 技術	環境リスク把握のための MS 技術の進展と活用	6日 AM	有り	松村千里 (兵庫県環境研究センター) Tel : 078-735-6911 Fax : 078-735-7817 jswe-ms@ee-net.ne.jp, matsumura-c@hies-hyogo.jp
生物膜法	生物処理生態工学技法の高度効率化による環境再生保全と流域適正管理	7日 PM	なし	稲森悠平 (NPO 法人バイオエコ技術研究所) Tel : 090-3203-4853 inamori@gmail.com
身近な生活環境	プラスチック社会と身近な水環境を振り返る	7日 AM	有り	寺崎正紀 (岩手大学) Tel : 019-621-6703 terasaki@iwate-u.ac.jp
微生物生態と水環境工学	微生物の代謝フロンティア	6日 PM	有り	伊藤 司 (群馬大学) Tel : 0277-30-1632 Fax : 0277-30-1632 t.tito@gunma-u.ac.jp
バイオアッセイによる安全性評価	水環境における農薬の生態リスク評価の現状と今後の課題	6日 AM	なし	山本裕史 (国立環境研究所) Tel : 029-850-2754 Fax : 029-850-2870 yamamoto.hiroshi@nies.go.jp
水中の健康関連微生物	微生物学的水質情報を活用した水環境・衛生管理の最前線	7日 AM	有り	原本英司 (山梨大学) Tel : 055-220-8725 eharamoto@yamanashi.ac.jp
湿地・沿岸域	湿地・沿岸域の今と未来	7日 PM	有り	藤林 恵 (九州大学) Tel : 092-802-3423 mfujibayashi@civil.kyushu-u.ac.jp
流域物質動態とノンポイントソース	流域の水物質動態と社会・生態系の関わり方の探究	6日 PM	有り	佐藤祐一 (琵琶湖環境科学研究センター) Tel : 077-526-4044 Fax : 077-526-4803 sato-y@lberi.jp
膜を利用した水処理技術	膜による事業継続を考える ～膜と生きる～	6日 AM	有り	大和信大 (メタウォーター株式会社) Tel : 052-856-1205 Fax : 052-856-1405 yamato-nobuhiro@metawater.co.jp
紫外線を利用した水処理技術	水環境分野における紫外線応用の新知見	7日 AM	有り	志賀淳一 (メタウォーター株式会社) Tel : 070-6593-7646 Fax : 0968-64-3380 shiga-junichi@metawater.co.jp
産業排水の処理・回収技術	2030 年を見据えた産業排水の処理・回収技術	7日 AM	有り	小松和也 (栗田工業 (株)) Tel : 070-4508-6390 k.komatsu51@kurita-water.com
電気化学的技術	環境エンジニアリングにおける電気化学的技術	7日 AM	有り	小森正人 (株式会社ヤマト大和環境技術研究所) Tel : 027-290-1865 Fax : 027-290-1897 Komori_Masahito@yamato-se.co.jp
熱帯・亜熱帯地域水環境	地球温暖化を巡る水環境の現状・課題と対応	6日 AM	なし	宮城俊彦 ((元) 沖縄県衛生環境研究所) Tel : 090-9785-3051 miyagto571123@yahoo.co.jp
農産業に関わる水・バイオマス循環技術	農産業に関わる水・バイオマス利用の技術とシステム	6日 PM	なし	赤尾聡史 (同志社大学) Tel : 0774-65-6578 sakao@mail.doshisha.ac.jp
将来の水環境変化に対応した水供給システム	水供給システムにおけるリスク及び不確実性とその対応策	6日 PM	有り	滝沢 智 (東京大学) Tel : 03-5841-5241 Fax : 03-5841-8532 takizawa@env.t.u-tokyo.ac.jp
汽水域	地球温暖化を巡る水環境の現状・課題と対応	6日 AM	なし	山室真澄 (東京大学) Tel : 04-7136-4770 Fax : 04-7136-4756 yamamuro@edu.k.u-tokyo.ac.jp
地域水環境行政	地域からの発信～水環境研究で明らかになった新事実～	6日 PM	有り	見島伊織 (埼玉県環境科学国際センター) Tel : 0480-73-8353 Fax : 0480-20-7031 mishima.iori@pref.saitama.lg.jp, sympo@jswe-local.org
マイクロプラスチック	マイクロプラスチック研究の最前線、分析手法の最前線	6日 PM	有り	大塚佳臣 (東洋大学) Tel : 049-239-1417 y_otsuka@toyo.jp



IWA 主催のものとはそれ以外のものに分け、発表者を明記してください。

- 国内学会講演集については、本学会関連のものとはそれ以外に分け、発表者を明記してください。

(3) 大学卒業以降の履歴書

(4) 当学会の会員番号

注) 応募までに、入会手続きを終了し、会員番号を取得している必要があります。

#### 選考方法

提出された論文、関連する研究業績リストに基づき、一次選考を行います。一次選考の結果は、7月末までに、電子メールにて通知いたします。研究業績に関しては大学院生が不利にならないよう、研究期間を加味して評価を行います。

一次選考を通過した方は、第25回日本水環境学会シンポジウムの若手研究紹介(オルガノ)セッション(9月6日)にて発表をしていただき、発表審査を行います。書類選考と発表審査結果を総合的に評価し、博士研究奨励賞受賞者を決定いたします。表彰は翌7日午後に行います。1次選考通過者にはシンポジウム参加に当たり、交通費、宿泊費および参加費が補助されます(第25回シンポジウムでは懇親会は開催されません)。一次選考通過者のA4用紙1ページの要旨の提出期限は通常のセッション要旨と同じです。

#### 応募書類送付・問い合わせ先

(公社)日本水環境学会シンポジウムオルガノセッション係  
Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkaicom@jswe.or.jp

### 第34回環境工学連合講演会 「環境工学の22世紀」

**主催** 日本学術会議 土木工学・建築学委員会

**期日** 2022年5月31日(火) 10:00~17:30

**会場** 日本学術会議講堂およびZoom ウェビナーによるハイブリッド開催を予定。

(但し、新型コロナウイルスの状況により完全オンライン開催に変更となる可能性があります)

**プログラム** 下記詳細 URL をご覧ください。

**定員** 現地参加 130名 / オンライン参加 500名

**参加申込** 下記 URL よりお申し込みください。

<https://rengo34.peatix.com/>

**参加費** 無料(講演論文集はPDF版をメール配布)

**詳細 URL** <https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/321-s-0531.html>

**問合先** (公社)日本科学会事務局 環境工学連合講演会  
担当 E-mail: env\_safe@chemistry.or.jp

※ E-mailにてご連絡頂く際は、タイトルに【第34回環境工学連合講演会】と明記ください。

### 第31回市民セミナー【学会設立50周年記念事業】 スマホ等身近なツールでできる環境研究と環境学習

スマホに代表されるスマートデバイスは私達の生活を大きく変化させました。これは、日常生活についてだけでなく、研究や教育の分野でも同様で、スマホやタブレット端末は汎用の環境モニタリングツールとして、またデータの解析・共有、さらには学習ツールとして重要な役割を担っています。また、これらのデバイスは新しいアプリや付属デバイスの開発等により、さらなる発展の可能性を秘めた大変魅力的なツールです。今回の市民セミナーは、スマートデバイスを応用した水環境に関する研究や教育の事例を紹介し、新しい形の水環境研究・教育さらには市民科学について議論を深めることを意図して企画しました。とくに若い世代の皆さんのご参加を期待しています。

**主催** 日本水環境学会

**期日** 2022年8月10日(水)

**場所** オンライン

詳細は次号以降でご案内予定です。

#### 問い合わせ先

(公社)日本水環境学会 セミナー係

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201号

Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352

E-mail: seminar\_info@jswe.or.jp

URL: <https://www.jswe.or.jp/>

### 第27回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する国内最大規模の研究発表会として、地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表、意見交換、技術交流、情報収集、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。これまで毎年、100件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々のご参加をいただいております。

このたび第27回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました多くの皆様へ、ご発表やご参加をいただきますようご案内申し上げます。

**主催** 日本地下水学会、日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、地盤工学会、土壌環境センター

**期日** 2022年6月23日(木)~6月24日(金)

**場所** 横須賀市文化会館(神奈川県横須賀市深田台50)

**内容(予定)** 口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、特別講演、企業展示、懇親会

## 他学会関連行事

### 10th International Conference on Acid Deposition, ACID RAIN 2020 ~The Future Environment and Role of Multiple Air Pollutants

主催 ACID RAIN 2020 組織委員会 ほか  
共催 国際森林研究機関連合 (IUFRO) ほか  
後援 日本水環境学会 ほか  
期日 2023年4月17日(月)~21日(金)  
場所 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター  
(新潟県新潟市中央区万代島6番1号)

要旨投稿期間 2022年5月1日~8月31日

参加申込締切 2022年9月30日(早期)  
2023年1月31日(最終)

#### 参加費/申し込み方法/プログラム

詳細は以下のURLをご参照ください。

詳細URL <https://www.acidrain2020.org/>

#### 問い合わせ先

AR2020 事務局 Email: ar2020jp@acap.asia

## おしらせ

### 年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成 (クリタ賞国際会議発表助成) 2022年度候補者の募集

過去の年会優秀発表賞(クリタ賞)受賞者が研究者・技術者として一層の飛躍をするために、本学会またはInternational Water Associationが主催または共催する国際会議(日本国内での開催会議も含む)への参加・発表を助成します。

助成が認められた発表予定の国際会議がCOVID-19の影響により延期になった場合は、対象期間後の開催になっても助成資格が維持されます。

**応募資格** 本会個人正会員または学生会員(2022年度)で以下の条件を満たす者

- 1) 大学院修士課程または博士前期課程を修了した過去のクリタ賞受賞者
- 2) 年齢が40歳未満(2022年4月1日時点)
- 3) 大学院、教育研究機関、公的機関で実施した研究成果を研究実施機関の在籍者の立場で発表すること

**助成内容** 会議での参加・発表にともなう費用の一部支援(旅費のみでなく、参加費、ProceedingsやAbstractの英文校閲にかかる費用等も含むことができます)

**助成実績(1件当たり)** 12.5~17.5万円

#### 対象となる国際会議の期間

2022年7月1日から2023年12月31日(COVID-19の影響を考慮し期間を変更することがあります)

**応募方法** 助成を希望する本人が、次項の書類を提出すること

発表/参加申し込み方法 HP (<http://gepc.or.jp/kenkyu/27th/>)から必要事項を入力してお申し込みください。

事前参加申込締切 2022年5月31日

参加費 一般:10,000円(12,000円)、学生:3,000円(4,000円) ※括弧内は当日受付の場合

#### 問い合わせ先

第27回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究会事務局 担当:木下(kinoshita@gepc.or.jp)

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階  
(一社)土壌環境センター内

Tel:03-5215-5955 Fax:03-5215-5954

※内容は変更になることもありますので、土壌環境センターのHPで必ずご確認ください。

## IWA 関連行事

### World Water Congress & Exhibition 2022 Copenhagen

期日 2022年9月11日(日)~15日(木)

場所 デンマーク、コペンハーゲン

詳細URL [www.worldwatercongress.org](http://www.worldwatercongress.org)

### 11th IWA International Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industry (AGRO' 2022)

主催 The International Water Association

期日 2022年10月26日(水)~28日(金)

場所 Gdańsk University of Technology  
(Gdańsk, Poland)

#### プログラム

①畜産からの廃水・廃棄物の処理と利用、②農業地域からの汚濁流出とその制御、③農業地域の水・廃棄物の革新的管理システム、④農業関連産業における気候変動の緩和・適応策、⑤土壌浄化・管理、⑥廃水・廃棄物の生物学的/化学的処理、⑦栄養塩除去および回収、⑧高度処理プロセスおよび革新的技術の適用、⑨持続可能なバイオマスエネルギー創出と資源回収の新たな潮流、⑩環境への負荷と対応策、⑪汚泥安定化・利用・処分、⑫サーキュラーバイオエコノミー、⑬農業関連産業における欧州グリーンディール

参加申し込み方法 詳細URLから申し込み

参加申込締切 アブストラクト受付締め切り(2022年5月31日(火))

参加費 €450(IWA会員の早期受付、2022年8月31日(水)まで)

詳細URL <https://iwa-agro2022.org/>

#### 問い合わせ先

E-mail: [contact@iwa-agro2022.org](mailto:contact@iwa-agro2022.org)

**提出書類**（書式は自由）

- 応募者の氏名、所属、住所、Tel., Fax., E-mail
- 大学卒業後の研究・業務略歴
- 対象とする国際会議の内容が判る資料および申込書（申し込み時点の口頭、ポスター等など発表形式が記されていること、(案)でも可）
- 発表予定の研究内容を記した書類（日本語でも可、発表申込時の abstract など）
- 参加を希望する国際会議における抱負
- 過去3年の研究等の業績（論文、発表等）
- 助成を希望する費目とおよその見積もり額を示した文書

**応募期日** 2022年6月30日（木）（COVID-19の影響を考慮し期間を変更することがあります）

**結果通知等** E-mailにより採否を通知予定です。授与式などはありません。

ただし、助成が認められても、当該発表が採択されなかった場合には、その助成の資格を失います。（次年度以降に別の発表について応募することは可能です）

**問い合わせ・書類提出先**

（公社）日本水環境学会 クリタ賞国際会議発表助成 係  
Tel : 03-3632-5351

E-mail : kokusai @ jswe.or.jp (@は半角に変更)

**第44巻(A)11号(2021)特集企画編  
「COVID-19タスクフォースの活動成果と  
産学官での社会実装に向けた動き」  
別刷り配布のお知らせ**

この度、第44巻(A)11号(2021)の特集企画編「COVID-19タスクフォースの活動成果と産学官での社会実装に向けた動き」の別刷を作成しました。当該企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、教育・公益的な目的でのご利用を希望する方へ別刷を無償配布いたします。

別刷をご希望の方は①会員番号（非会員の方は非会員とご記入ください）②所属 ③氏名 ④送付先住所 ⑤使用目的（具体的に）⑥希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール（kikaku@jswe.or.jp）にてお申込みください。先着順に受け付けます。なお、今後PDF版の公開も予定しています。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

会員は、特集企画編「COVID-19タスクフォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」（第43巻(A)12号(2020)特集）、「地環研の躍動」（第43巻(A)2号(2020)特集）、「水環境分野で働く若手たち」（第41巻(A)3号(2018)特集）、「水環境分野で働く女性たち」（第36巻(A)10号(2013)特集）にも残部（若干数）がありますので、ご希望があればご連絡ください。

**島津科学技術振興財団  
2022年度島津賞候補者の推薦について**

**当会受付締め切り** 2022年6月20日（月）（必着）

**表彰の対象** 科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究及び応用・実用化研究において著しい成果を上げた功労者。推薦依頼学会からの推薦が必要。

**表彰内容** 被表彰者1名に賞状、賞牌、副賞500万円

**応募方法** 下記詳細URLより申請書をダウンロードし、日本水環境学会より推薦書を送付

**決定期間** 2022年12月中旬

**詳細URL** <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>

**問い合わせ先**

（公財）島津科学技術振興財団 事務局

Tel : 075-823-3240 Fax : 075-823-3241

E-mail : ssf@zaidan.shimadzu.co.jp

**島津科学技術振興財団  
2022年度島津奨励賞候補者の推薦について**

**当会受付締め切り** 2022年6月20日（月）（必着）

**応募資格** 国内の研究機関に所属する45歳以下の研究者。推薦依頼学会からの推薦が必要。

**表彰内容** 被表彰者3名以下、トロフィ、副賞100万円

**応募方法** 下記詳細URLより申請書をダウンロードし、日本水環境学会より推薦書を送付

**決定期間** 2022年12月中旬

**詳細URL** <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>

**問い合わせ先**

同財団 2022年度島津賞候補者の推薦と同じ

**島津科学技術振興財団  
2022年度研究開発助成の募集**

**募集期間** 2022年7月31日（日）（消印有効）

**応募資格** 国内の研究機関に所属する45歳以下の研究者

**助成金額** 総額2300万円以下

**応募方法** 下記詳細URLより申請書をダウンロードし、直接応募（所属長の承認必要）

**決定期間** 2022年12月中旬

**詳細URL** <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>

**問い合わせ先**

同財団 2022年度島津賞の推薦と同じ

**遠山椿吉記念 第8回食と環境の科学賞**

日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点を持ち、地道に社会貢献を追究する研究者（個人および研究グループ）を顕彰する賞です。

**対象** 日本を拠点に活動する個人の研究者または研

究グループ

**応募書類** 所定の応募・推薦用紙, 受賞候補者略歴, 業績一覧, 原著論文

**受付期間** 2022年6月30日(消印有効)

**副賞** 賞金300万円

※詳細は下記HPをご覧ください。

**提出先**

一般財団法人東京顕微鏡院公益事業室「遠山椿吉賞」

運営事務局

〒102-8288 東京都千代田区九段南4-8-32

Tel : 03-5210-6651

URL : <https://www.kenko-kenbi.or.jp>

### JST 戦略的創造研究推進事業 CREST における フランス ANR との日仏共同提案募集案内

科学技術振興機構(JST)は、戦略的創造研究推進事業 CREST の2022年度の公募において、フランス国立研究機構(ANR)と連携し、2つの研究領域にて日仏共同提案を募集いたします。※ANRの申請受付期間は、JST(CREST)より早いのでご注意ください。

**詳細 URL** [https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian/top/info/info\\_220221.html](https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian/top/info/info_220221.html)

**問い合わせ先**

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

戦略研究推進部

E-mail : [rp-info@jst.go.jp](mailto:rp-info@jst.go.jp)

### JST 2022年度 CREST・さきがけ・ACT-X 研究提案募集

<スケジュール>

**募集締切**

さきがけ・ACT-X : 2022年5月31日(火)正午 厳守

CREST : 2022年6月7日(火)正午 厳守

詳細に関しては下記サイトをご確認ください

<https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

**問い合わせ先**

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

戦略研究推進部

E-mail : [rp-info@jst.go.jp](mailto:rp-info@jst.go.jp)

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム(J-STAGE)」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>